

## 平成 27 年度第 1 回富山県環境審議会水環境専門部会 議事概要

### 1 日時

平成 28 年 2 月 19 日（金）午後 2 時～ 3 時 15 分

### 2 場所

富山県民会館 401 号室

### 3 出席者

委員：楠井専門部会長、加賀谷委員、小口特別委員（代理：上原国土交通省北陸地方整備局環境調査官）、高橋専門員、田口専門員、千葉専門員、陶野専門員、藤縄専門員

事務局：熊谷生活環境文化部次長、藤平蔵参事・環境保全課長、中山課長補佐、神保水質保全係長、井上主任、早坂主任ほか

### 4 議事

- (1) 平成 28 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について
- (2) その他

### 5 主な意見、質疑応答

- (1) 平成 28 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について

[委員等]エピクロロヒドリンを 28 年度水質測定計画から毎年測定としているが、他の項目で特筆すべきことはないか。

[事務局]平成 27 年度の結果については、年平均値等年間を通じた結果で評価し、来年度に公表するものであるが、現状では、エピクロロヒドリン以外は、平成 28 年度の水質測定計画に反映させるような項目はない。

[委員等]類型指定について、BOD 等が 100%を達成していることから、見直しを進めるべきではないか。

[事務局]河川における類型については、22 年度、23 年度に県内全域で見直し、上位の類型にレベルアップしたところであり、引き続き、利水状況や水質の状況を勘案しながら、必要に応じて検討してまいりたい。

- 平成 28 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画については、県の原案のとおり決した。

(2) その他

富山県水質環境計画（クリーンウォーター計画）の進捗状況について、報告した。

[委員等] 富山県水質環境計画では、油流出事故対策が課題に挙げられており、27年度はリーフレットを作成するなど啓発等の強化を図っているが、今年度の状況をご教示願いたい。

[事務局] 今年度の油流出事故の発生状況については、昨年度並みであり、引き続き、啓発に取り組んでまいりたい。

[委員等] 啓発の効果が表れるまでには時間がかかると思われるが、また、情報提供してもらいたい。

[委員等] 今年は雪が少なく、来年度は河川水量の減少等により、水質にも影響が出るかもしれない。また、先日、岐阜市で地下水の講演会で富山県の地下水涵養の取組みが紹介されていた。水利権の問題もあり、地下水涵養の拡大は難しいと思うが、富山県には率先して実施していただきたい。水質だけでなく、水全体の循環を見ていかないといけないと思うが、水循環基本法も施行されたが、富山県の水循環などの施策の進捗状況をご教示願いたい。

[事務局] 富山県では、水全般の施策のマスタープランとして、とやま21世紀水ビジョンを策定し取組みを進めている。水循環基本法で求めている流域水循環協議会の設置については、国から手引きを作成しているところであり、今後どのように進めていくのかについては、とやま21世紀水ビジョン推進会議などに諮りながら取り組んでまいりたい。

[委員等] 水質に関するデータについて、採水方法、分析方法等によって測定値に変動の幅もあることから、単独の数値で評価・分析することは困難である。ある程度のスパンで濃度推移の確認ができるようにするなど、常時監視等のデータ整理について検討しておいていただきたい。

以上、議事内容に相違ありません。

富山県環境審議会水環境専門部会長 楠井 隆史